

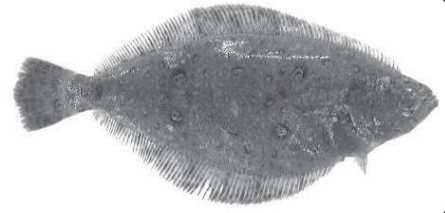
ムシガレイ

日本海海域

Eopsetta grigorjewi

地方名

さいべ、さんとがれい（八戸）、
みずがれい、みずくさ、みずくさ
がれい（陸奥湾、日本海）



生態

- ①寿命：10年以上
- ②成熟：オス2歳（全長18cm）以上
メス3歳（全長21cm）以上
- ③産卵期：4月～6月
- ④産卵場：水深100m以浅の砂泥域
- ⑤分布：北海道（噴火湾、稚内）以南の日本沿岸、
台湾、東シナ海
- ⑥生態：通常は水深200m～250m以浅の砂泥域に生息。
食性は甲殻類、イカ類、魚類など。

主な漁業

底建網、さし網、底びき網で漁獲。主漁期は4月～5月。漁獲主体は3歳～5歳魚。

資源の動向と水準

青森県日本海側のムシガレイ漁獲量は、1993年の5トン以降増加傾向が続き、2017年に127トンと記録したが、2020年に65トンと減少した。

2020年の資源動向は、コホート解析により推定した資源量の直近5年間の傾きから減少と判断した。2020年の資源水準は、長期間データを有する漁獲量を判断材料とし、その最高値と最低値との間を3等分し、上から高位、中位、低位とすると、中位であった。



資源を上手に利用するために

- 資源管理計画（日本海海域 1999年3月）
 - ・全長20cm未満個体の再放流、かれいさし網の目合規制（3.5寸以上）の徹底が定められた。
- ☆上記の取組を継続することが必要である。

トピックス

- ・青森県日本海海域で実施した標識放流調査では、本県日本海から秋田県沖を回遊することが報告されている。

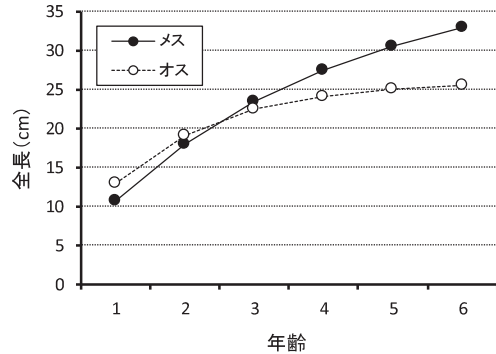


図 青森県におけるムシガレイの成長

出典：伊藤ら（2015）青産技セ水研報，9，15-26。

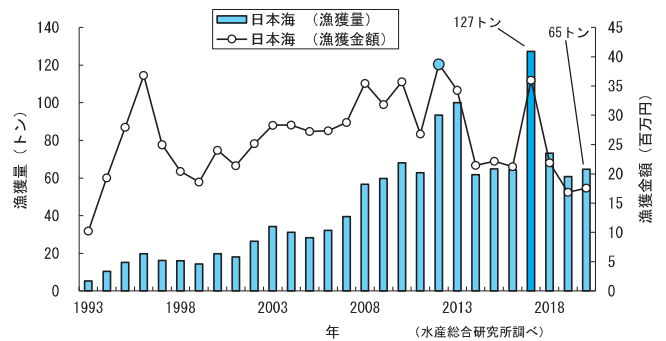


図 青森県日本海ムシガレイの漁獲量及び漁獲金額の推移

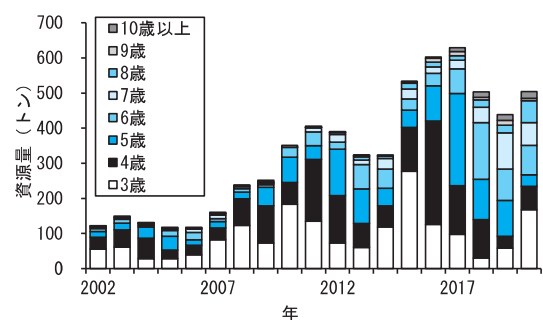


図 青森県日本海ムシガレイの年齢別資源量の推移